



とうぎん ゆう

東山の雄

一関市立千厩中学校
学校だより 第1号
令和6年4月5日
文責：菊池弘明

このメンバーで生徒一人一人の成長を支えます！

令和6年度 学年所属等一覧

一関市立千厩中学校

学年		氏名		担当教科・学級	部活動	在籍年数
1 学年	1 学年主任	岩 渕 秀 男	いわぶち ひでお	1 学年・2 B 数学	ソフトボール	2 年
	A 組担任	川 村 佑 貴	かわむら ゆうき	1 学年保体 2・3 学年・かがやき A 技術	男子バスケットボール	2 年
	B 組担任	旭 有 希	あさひ ゆき	全学年音楽 かがやき A 国語	吹奏楽	1 年
	C 組担任	山 田 英 幸	やまだ ひでゆき	1 学年・3 B・3 C 社会	男子ソフトテニス	2 年
	副担任	青 柳 清 隆	あおやぎ きよたか	1 C・かがやき A 英語	—	1 年
	学習支援員	木 村 康 弘	きむら やすひろ	1・2 学年数学	—	2 年
2 学年	2 学年主任	菊 池 孝 幸	きくち たかゆき	2 学年・3 B・3 C 保体 1 学年技術	サッカー	5 年
	A 組担任	川 村 晨	かわむら しん	2 学年・3 A・かがやき A 社会	野球	5 年
	B 組担任	伊 藤 玲 杏	いとう れあ	全学年家庭、かがやき A 数学	剣道	2 年
	C 組担任	野 崎 正 暢	のざき まさのぶ	2 学年英語	女子ソフトテニス	1 年
	かがやき B 担任 かがやき A 副担任	羽 柴 隆 之	はしば たかゆき	1 C・2 学年国語	女子卓球	1 年
3 学年	A 組担任	新 沼 航 輝	にいぬま こうき	1 A・1 B・3 学年英語	男子バレーボール	6 年
	B 組担任	伊 東 敬 一 郎	いとう けいいちろう	1 学年・3 学年理科	バドミントン	2 年
	C 組担任	戸 羽 智 英	とほ ともひで	2 A・2 C・3 学年数学	女子バレーボール	2 年
	かがやき A 担任	佐 藤 公 子	さとう きみこ	全学年美術 かがやき A 作業、生活	総合文化	2 年
	副担任	菊 池 雅 紅	きくち がく	1 A・1 B・3 学年国語	女子バスケットボール	1 年
学年外	校 長	菊 池 弘 明	きくち ひろあき		—	2 年
	副校長	高 橋 走	たかはし そう	3 A 保体、かがやき A 理科	地域部活動推進員 (柔道)	1 年
	教務主任	鈴 木 義 伸	すずき よしのぶ	2 学年理科	男子卓球	6 年
	事務長	佐 藤 智 之	さとう ともゆき		—	3 年
	養護教諭	今 野 優 真	こんの ゆま		—	2 年
	栄養教諭	伊 藤 瑠 梨	いとう るり		—	2 年
	用務員	畠 山 吉 文	はたけやま よしふみ		—	2 年
	適応支援相談員	鈴 木 庸 子	すずき ようこ		—	10 年
	A L T	スパンサー・ニューエン			—	2 年
	読書普及員	泉 あけみ	いずみ あけみ		—	1 年
	部活動指導員	千 葉 幸 悦	ちば こうえつ		バドミントン	4 年
	I C T サポーター	菅 原 慎 二	すがわら しんじ		—	2 年
	S C	入 駒 一 美	いりこま かずみ		—	1 年

令和6年度 千中生に求めること

【三つの当たり前】

「時を守り 場を清め 礼を正す」

- 時間を守ることできる
- 隅々まで掃除をすることができる
- 自分から明るく挨拶することができる

【三つのこうありたい】

- 素直で正直に生きること
- 命の尊さを理解し、大切にすること
- いじめを含む差別を許さないこと

あきらめ
ないことが
最強の
能力



そして、令和6年度の合言葉を「あきらめない」としたい！

令和6年度 千厩中学校まなびフェスト

※「まなびフェスト」とは、教職員、生徒、保護者等が目標を共有し協働して達成を目指すもので、目標が達成できたかどうかの判断基準となる数値や状態を目標の中に取り入れるもの。

<確かな学力の定着>

- 1 学習内容が定着していると思う生徒の割合を75%以上にします。
- 2 目標をもって家庭学習に取り組む生徒の割合を75%以上にします。

<豊かな人間性の育成>

- 1 復興教育を意識した生活を送る生徒の割合を70%以上にします。
- 2 「時を守り 場を清め 礼を正す」ができている生徒の割合を90%以上にします。
- 3 将来の夢やつきたい仕事など具体的に目標を持つ生徒の割合を70%以上にします。

<健やかな心身の育成>

- 1 日ごろから健康を意識した生活を送る生徒の割合を90%以上にします。
- 2 新体カテストで「A・B・C」の段階の生徒の割合を80%以上にします。

<家庭や地域から信頼される学校>

- 1 子供が学校から満足して帰ってきていると思う保護者の割合を70%以上にします。
- 2 地域行事への参加、地域でのボランティア活動に参加する生徒の割合を90%以上にします。
- 3 学校自己評価及び学校評価結果を公表し、学校経営の改善に努めます。